

人とモノの間に。



**TANAX**

**サステナビリティレポート 2026**

株式会社TANAX CSR報告書（2025年12月期）

トップメッセージ	P2
TANAXのあゆみ	P3
会社プロフィール	P4
企業理念	P5
マネジメント	P6
TANAXのCSRの考え方	
TANAXマテリアリティ	
環境	P8
環境保全の取組み	
CDPの取組みとCO2排出量削減活動	
お取引先様とともに	
お客様満足を目指して	
労働	P13
働きやすい職場環境づくり	
社会	P15
文化・スポーツの振興	
コンプライアンス・リスクマネジメント	
外部評価・イニシアチブ参加	P18
編集方針	P19



TANKA

## MVVを軸に持続可能な企業活動の深化へ

### 持続可能な価値創出に向けて

社会や市場の変化が加速する中、企業に求められる役割も大きく変化しています。単なる製品・サービスの提供にとどまらず、事業活動そのものを通じて社会課題の解決に貢献し、持続可能な価値を創出し続けることが重要となっています。同時に、AI技術の進化により顧客接点や購買行動が大きく変わる中で、企業はより本質的な体験価値の提供が求められています。

当社は、「いつの時代でもココロでつながる会社でありつづける」という理念のもと、常に人とモノの間に新たな体験や感動を創造し続けることで、社会と持続的な関係性を築いてまいりました。

昨年度は外部環境の変化にも各事業がそれぞれの強みを活かしながら柔軟に対応し、連携を深めることで事業活動の質を高めてまいりました。こうした取り組みは、単なる成長にとどまらず持続可能な企業活動の基盤強化につながっています。また、自社MVVの浸透を通じて、全社員が自らの役割と社会的責任を意識し、日々の業務の中にサステナビリティの視点を取り入れる風土が着実に根付いてきました。

2026年度はこうした基盤の上に立ち、事業を通じた社会価値創出をさらに加速させてまいります。

セールスプロモーション事業においては、AI技術を取り入れた新たな購買体験の創出に取り組み、人材不足の対応をしながら、顧客との接点価値を高めていきます。産業資材・物流分野においては、それぞれの強みを活かしながら効率化し、新たな価値提供の機会を広げて顧客課題の解決と社会的価値の両立を目指してまいります。また、事業間の連携を一層深化させることで当社ならではの総合的な価値創出を実現していきます。

創業120周年を見据えて、2026年度は持続可能な成長基盤をより強固なものとする重要な一年です。

MVVを共通の軸に、社員一人ひとりが主体的に価値創出に取り組むことで、環境課題・社会課題の解決に貢献し続ける企業でありたいと考えています。

これからも私たちは、「人とモノの間に」ある本質を見つめ、全ての事業活動を通じて持続可能な未来の実現に向けて歩み続けてまいります。

代表取締役社長 田中 一平



UXと自らニーズを創造することによって  
次の100年も無くてはならない存在であり続けます。

当社は、2027年に創業120周年を迎えます。  
明治から令和へ時代が変わっても創業以来変わらず  
守り、つないできた想い。  
いつの時代でも人々のニーズや感情に徹底して寄り  
添う姿勢で期待を超え続け、信頼を築いてきました。

## Innovation



創業



国内シェアNo.1  
ロングセラー商品



日本初の  
ペーパーディスプレイ  
システムを開発



包装・梱包改善



店頭DX

人とモノの間に。

# TANAX

明治40年:田中与助個人創業

昭和37年:弾力性や強度に優れ、様々な形状でも  
梱包できる包装材「クレダン®」を開発

昭和47年:日本初のペーパーディスプレイシステム  
(組立陳列台)を開発し、商品化  
セールスプロモーションの分野へ進出

平成16年:株式会社タナカヤから  
株式会社TANA-Xに商号変更

平成19年:会社創業満**100**周年

平成26年:物流ソリューション事業スタート

Just Fit BOX (ジャストフィットボックス)  
や蛇腹状の段ボールシート「パタダン®」の  
製造・販売開始

令和 3年:株式会社TANA-Xから

株式会社TANAXに商号変更

Connected Shelf®のサービス開始

## Experienceの提供

私たちの仕事、それは人々の期待の「先」を創りだす  
こと。人は、日々さまざまなモノと出会い、惹かれ、そ  
れを手に入れます。そんな日常に、感動の瞬間をつくるの  
が、私たちTANAXの仕事です。

商品を誰よりも深く知り、お客様自身も気が付かなか  
った魅力を引き出す。人の心理や行動を緻密に分析し、消  
費者自身も気が付かなかったニーズを可視化する。

そんな、期待のさらに先に行く追求の数々が、「人」と  
「モノ」とをつなぎ、大きな感動を生み出します。

TANAXは、お客様や生活者の視点に立ち、新た  
な体験 (Experience : エクスペリエンス) の提供  
によって、これまでにない価値を創造しています。



それぞれの商品、サービス、ソリューションを通  
して、そこに「新しい発見や体験、驚き」を提供  
することが、私たちの使命です。

## 会社概要

商号	株式会社 TANAX
会社代表者	代表取締役社長 田中 一平
本社所在地	〒600-8105 京都府京都市下京区五条通烏丸東入松屋町438番地
設立	1951年（昭和26年）3月23日
資本金	3億6,400万円
決算期	12月
従業員	500名（2025年12月31日時点）

### 創業

119年



創業100年を超える日本の老舗企業の誇りを胸に、次の100年を目指して、環境・社会への責任を果たしながら、持続可能な未来の創造に貢献します。

### 従業員数

500人規模



企業設立以来毎年新卒採用を続け、幅広い年代の社員が、営業職をはじめ、製造やデザイナー、エンジニアとして活躍しています。

### 売上高

220億円以上



国内外の大手企業と取引し、様々な業界を通して得たノウハウを活かした提案で、高い顧客満足を獲得しています。

### 新人研修

約2ヶ月



人的資本を企業成長の基盤と捉え、個の能力を最大限に引き出すことを重視し、成長支援を通じて、持続可能な組織づくりを推進しています。

### 拠点数

国内（支店・営業所・工場）

18ヶ所



日本全国でビジネスを展開。安定した供給と地域ごとの需要に素早い対応ができる生産拠点として、自社工場を7つ設けています。

### 技術力

国内シェア

No.1



片面段ボール「クレダン®」は誕生から60年以上が経ち、これまでに培った高い技術力で、今もなお、業界をけん引し続けています。

### 年間休日

120日以上



心身共にリフレッシュすることで、業務パフォーマンスの向上にも繋がるなど、各社員が仕事とプライベートを両立させています。

### 有給休暇取得率

2025年度

約80%



心身ともに健康であり続けるために、積極的な年次有給休暇の取得の呼びかけや、社員一人ひとりが取得を心がけています。

## 事業内容



### トータルプロモーションプランニング（セールスプロモーション事業）

ブランドに込められた想いを届け、消費者のココロを動かすプロモーションで商品と「出会う」「手に取る」瞬間を演出します。



### 包装・梱包改善（産業資材事業）

明治の創業から継続してきた包装・梱包改善のノウハウに基づき、お客様の様々な課題にプロフェッショナルな視点でお応えします。



### 物流ソリューション（物流事業）

物流現場が直面する「人手不足」や「出荷の増加」などの課題に対して、物流改善の糸口となるソリューションをご提案します。



### コンシューマー事業

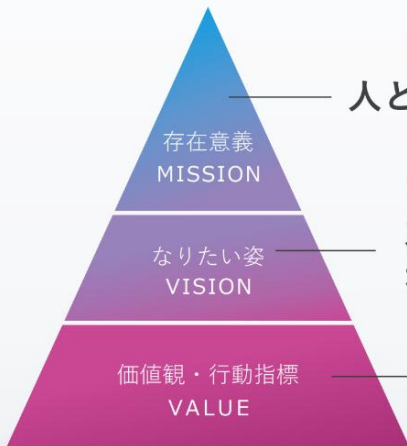
消費者向け店舗の運営を通して、流通や消費者の声を直接お聞きすることで、お客様の満足度向上に日々取り組んでおります。



## いつの時代でも 「ココロでつながる会社」でありつづける。

私たちは、メーカーが生み出した製品の魅力を最大限に引き出し、消費者へと届けるために、いつの時代も「ココロでつながる会社」であり続けることを最も重要視しています。大きな価値を生み出すために何よりも大事なのは、ココロがつながること。互いの強みを引き出し合い、そしてさまざまな者同士が連携し合うことで、消費者の感動体験をつくっていくことが可能になります。

### MVV (ミッション・ビジョン・バリュー)



人とモノの間に。

UXと自らニーズを創造することによって  
次の100年も無くてはならない  
存在であり続ける。

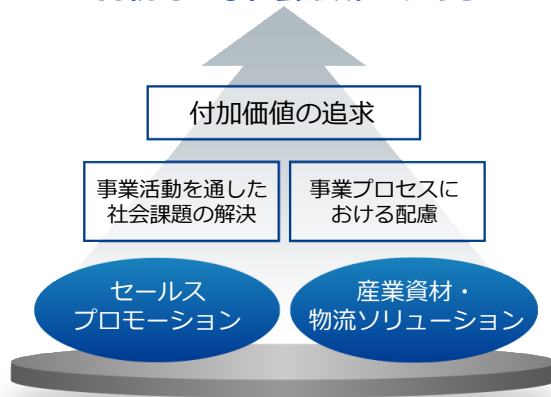
感動の原点はいつも私たち。

人のニーズや感情に徹底して寄り添う姿勢で  
期待を超え続け、信頼を築く。

当社は、セールスプロモーション、産業資材・物流ソリューションの各事業を通して、持続可能な社会形成への寄与を目指します。

- ステークホルダーの要請・期待に応える付加価値を追求することで、信頼に基づく相互発展の関係を構築します。
- 事業活動を通して社会課題の解決に向けた価値を提供します。
- 事業プロセスにおける環境・社会・品質への影響に配慮し、継続的改善に取り組みます。

## 持続可能な社会形成への寄与



## SDGsへの貢献

2015年の国連サミットにて2030年までの「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、持続可能な社会の実現に向けた17目標・169ターゲットへの貢献が社会的に求められています。当社では、SDGsの開発目標から7項目を重点目標に定め、お客様および協力会社様のCSR・SDGs活動への貢献につなげるため、活動推進しています。

### SDGs : Sustainable Development Goals

国連サミットで採択された、2030年に向けた「持続可能な開発目標」。目標・ターゲットには人権、健康、気候変動対策、森林保全などが含まれます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS






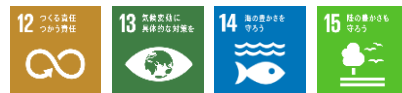
### ■ TANAXのSDGs重点目標



TANAXはお客様・協力会社様・従業員・製品・地球環境への配慮に重点を置いて、SDGsの取り組みを全社で推進しています。

※対応するSDGs目標とターゲット番号を記載

CSR重点テーマ		SDGsへの主な貢献
事業を通じた 社会課題の解決	製品ライフサイクルにおける環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちゃんとエコ</li> <li>・FSC® 森林認証</li> <li>・環境ラベルでの環境意識向上への貢献</li> </ul>  <p>1.5 2.4 3.3 3.8 3.9 4.1 5.5 5.a 6.4 6.5 6.6 7.2 8.4 8.5 8.7 8.8 12.1 12.2 12.4 12.5 12.6 12.7 12.8 12.a 13.1 14.1 14.3 15.1 15.2 15.3 15.4 15.5 15.7 15.8 15.c 16.3 16.5 16.6 16.7 17.1 17.11 17.17</p>
	・客先での滞在在庫の削減 ・廃棄物の削減	 <p>12.1 13.1 14.1 15.1</p>
	・プラスチックゴミ削減 ・植物性、生分解性素材や 新技術の提案推進 ・再利用可能な資材の提案	 <p>3.9 12.2 12.4 12.5 13.1 13.3 14.1 14.3 15.1</p>
	梱包を起点とした 物流ソリューション	 <p>8.2 9.4 12.2 12.4 12.5 15.1</p>
	店舗DX推進 (デジタルトランスフォーメーション)	 <p>8.2 9.4 12.2 12.4 12.5</p>
	豊かな暮らしと 多様な人々への配慮	 <p>3.9 12.2 12.4 12.5</p>
事業プロセスに おける配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動への対応 (GHG排出量の削減)</li> <li>・環境負荷の低減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001取得</li> <li>・CDP参画とGHG排出削減活動</li> </ul>  <p>12.2 12.4 12.5 13.1 13.2 13.3 14.1 15.1</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品質・コスト競争力向上</li> <li>・責任ある生産と調達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO9001 品質管理とトラブル削減</li> <li>・CSR調達方針の徹底</li> <li>・サプライチェーン評価</li> </ul>  <p>8.7 8.8 10.2 12.2 12.4 12.5 17.17</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きやすい職場環境</li> <li>・多様性の尊重</li> <li>・人材育成、成長支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイルス感染対策</li> <li>・SFA導入と活用</li> <li>・WLBの向上</li> <li>・有給休暇取得推進活動</li> <li>・育児、介護休業制度</li> <li>・女性活躍推進</li> </ul>  <p>3.3 3.9 5.4 5.5 8.2 8.8</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス・リスクマネジメント</li> <li>・ビジネス倫理の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス教育</li> <li>・ISO27001 情報管理</li> <li>・事業継続計画 (BCP)</li> <li>・Sedex参画</li> </ul>  <p>12.4 16.5 16.7 17.17</p>



地球環境保全と地域社会への配慮は、経営における重要課題の1つです。

当社はCO<sub>2</sub>排出量の抑制と持続可能な資源の利用に努め、環境経営を推進しています。

## TANAX 環境憲章

### 基本理念

株式会社TANAXは、「循環型・持続可能な社会形成への寄与」を果たすべく、地域社会との調和・共生をはかり、地球環境保全活動の推進と、資源の持続可能性確保に努めます。

### 基本方針

1. 省資源・省エネルギー・CO<sub>2</sub>排出削減の推進
2. 事業活動に関わる環境負荷の低減
3. 環境配慮品・森林認証品の拡販
4. 環境保全活動の公開と社内啓蒙

発行：2017年12月1日  
改訂：2021年 9月1日

### 「ちゃんとエコ」認定ラベル制度

「ちゃんとエコ」とは、店頭販促物、産業資材、商業包装材料にて、ライフサイクル全般における環境負荷低減に配慮した製品を「ちゃんとエコ」製品として認定する、TANAX独自の環境ラベル制度です。

2009年の運用開始以降、持続可能な社会のために今できることを可能な限り実践する精神のもと、お客様・協力会社様とともに環境負荷低減を実行しています。営業、企画、設計、製造、廃棄、リサイクルなどでの環境配慮を加点評価し、基準点をクリアした製品に「ちゃんとエコ」ラベルを付与。FSC®認証紙の利用推進、省資源化による環境負荷削減、環境コミュニケーションによる社会的な環境意識向上などに貢献しています。

### FSC® 認証 (CoC認証)

森林保全への貢献を企業としての社会的責任と捉え、FSC認証紙の使用を推進。FSC認証は適切に管理された森林から切り出した木材を原材料に使用することで木を

利用しながら森を守る」制度です。

当社はFSC CoC認証を2010年に取得し、認証製品の製造販売を行っています。



責任ある森林管理のマーク  
FSC® C084665



「ちゃんとエコ」ラベルは自己宣言型環境主張（タイプII環境ラベル）として、環境省の環境ラベル等データベースに掲載されています。

### ISO14001 (環境マネジメントシステム)

2001年から本社工場にて、ISO14001(環境マネジメントシステム)を導入し、各種環境課題への取り組みの目標を設定し、環境パフォーマンスの向上に努めています。

システム運用では、第三者機関による定期審査を受け、有効性確認と改善を実施しています。



TANAX本社工場



わたしたちは、いつの時代でも「ココロでつながる会社」でありつづける。を企業理念とし、地球環境保全・地域社会との調和や共生をはかり、「循環型・持続可能な社会形成」の実現を目指します。環境的価値や社会的価値に常に貢献し、経済的価値向上につなげ、地球や社会とココロでつながり、顧客企業の課題解決において、いつの時代でもなくてはならない存在でありつづけます。

## TANAX 環境方針

### 1. 環境型・持続可能な社会をめざす

環境マネジメントシステムを推進し、省資源、省エネルギーに取り組み、持続的な改善により、地球環境保全に取り組む。

### 2. 法的大きび社会的責任への取り組み

環境保全に関する法規制の遵守や企業の社会的責任だけでなく、社会対応力を向上し、ステークホルダーの期待や将来の社会的課題においても事前に察知し、自主的な行動基準を設定し、実行する。

### 3. 環境目標の設定と実態の検証

環境影響を的確に捉え、中長期的な目標の設定と、実施状況を定期的に検証、公開すると共に、環境負荷低減に取り組む。

### 4. 環境配慮品やサービスの提供

ライフサイクルアセスメントの視点に基づき、ライフサイクル全体で環境負荷低減となる製品やサービス提供に取り組む。

### 5. 全てのステークホルダーと協働し、環境保全に取り組む

持続可能な調達を推進し、原材料供給先や外部委託先、お客様など、全てのステークホルダーと協働し、開発・企画・設計・調達・生産・使用・廃棄に至る各プロセスで、環境負荷低減を推進する。

### 6. 自然環境、生物多様性への配慮

生物多様性や大気・水環境に配慮した事業活動を行うと共に、地下消費資源・CO<sup>2</sup>・水消費の削減、森林認証材の利用、脱プラスチック・サーキュラーエコノミー推進を行い、陸域生態系の保護、海洋・海洋資源の保全に努める。

### 7. 環境保全活動推進と全従業員への周知と教育

全従業員へ環境方針を周知し、環境保全活動への意識を高め、事業プロセスを常に見直し、ビジョンの共有・仕組み作り・次世代教育を行い、一人一人が自ら考え行動できる様、ESG推進に取り組む。

### 8. 社会コミュニケーションを行い、環境情報を積極的かつ公正に開示する

事業活動における全てのステークホルダーとのコミュニケーションを推進し、公正かつ透明性高い情報公開を行い、ステークホルダーエンゲージメント向上に取り組む。

発行：2023年11月1日



## CDP (カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)

CDPとは、グローバル企業や主要国企業に対し、気候変動対策、森林・水資源の保護に関する、環境問題への取り組みについて公開を求め、評価する国際NGOです。企業評価にESG（環境・社会・企業統治）情報を活用する流れが強まる昨今、CDPは企業の持続可能性を示す指標の1つとなっています。

当社は2015年からCDPに参画。2025年もCDP質問書に回答し、前年の気候変動対策や森林保全活動の実績と今後の戦略、リスクマネジメント結果を公開しました。



気候変動

スコア: **B**



森林

スコア: **B**



水

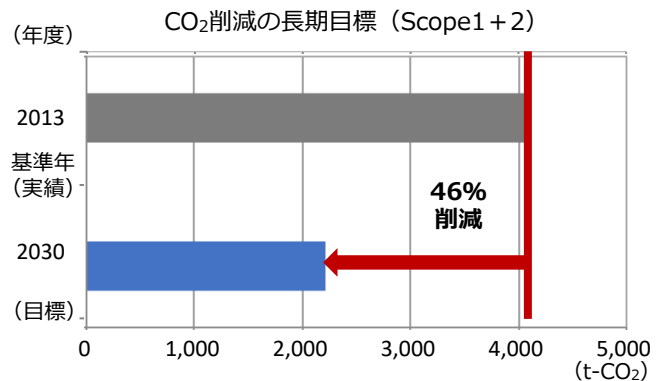
スコア: **B-**

2025年のCDPにて、3分野の環境取り組み(2024年活動実績)を公開

## 2030年に向けたCO<sub>2</sub>排出量削減を上方修正

地球環境保全は企業にとっての重要課題の1つと認識し、当社はCO<sub>2</sub>排出量の削減を進めています。

2021年4月地球温暖化対策推進法に基づく政府表明を受け、当社は2030年までに「2013年比26%削減目標」を上方修正し、「**2013年比46%削減**」を目指す事を表明します。目標達成に向け、より一層、省エネルギー化と生産性向上に努め、CO<sub>2</sub>排出量削減を推進していきます。

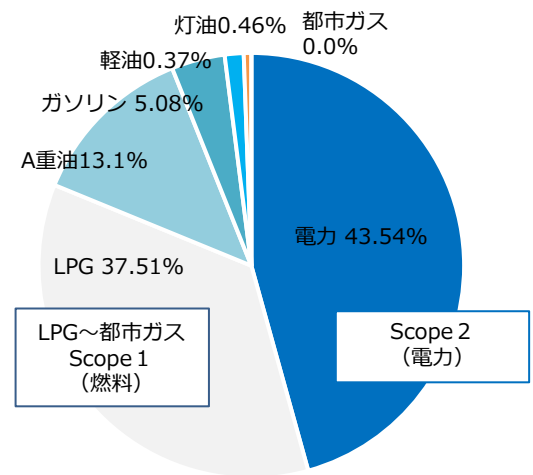


## CO<sub>2</sub>排出削減活動

2025年度のCO<sub>2</sub>排出量は2,795t-CO<sub>2</sub>となり、基準年の2013年比で31.8%削減し、SDGs達成に向け、順調に推移。当社では省エネルギー化や設計・製造での省資源化などの取り組みに加え、CO<sub>2</sub>削減を目的とした設備投資を推進しています。

主なCO <sub>2</sub> 削減活動	実施年
照明のLED化	本社工場 2015年 2019年
	本社 2017年
	北海道工場 2019年
	仙台工場、九州工場 2020年
高効率ボイラーの入れ替え	本社工場 2014年
	東京利根工場 2016年
	北海道工場 2017年
空調機の入替	本社工場 2018年
印刷機の入替	本社工場 2020年
電力の再生エネルギー	北海道工場、仙台工場、 広島工場、九州工場 2025年から順次
本社・各工場における新電力採用	2015年から順次
新電力採用済みの5工場においてCO <sub>2</sub> 排出係数の低い新電力に切り替え実施	2018年
営業車削減とカーシェアリング導入	2015年
本社での電気自動車の導入	2016年

TANAXのエネルギー種別CO<sub>2</sub>排出量 構成比 (2025年度)



※CDP回答内容として2025年の活動実績を公開

2025年度のCO <sub>2</sub> 排出量	2,795t-CO <sub>2</sub>
2013年比の削減率	31.8%削減
2030年 SDGs目標 13達成目標	2,212t-CO <sub>2</sub>



コンプライアンス、人権の尊重、地球環境保全など、当社のCSRの考えに基づいた調達活動を通して、当社と協力会社様との長期的な相互の信頼関係を構築し、共存共栄の関係を目指します。

## TANAX CSR調達方針

### 1. お取引先様との共存共栄

当社は、事業活動を行うために必要な物品、サービス等を様々なお取引先様より調達し、付加価値を加え、当社の製造品、サービスとして提供を行っています。

この中において、当社とお取引先様とは、相互に長期的な信頼関係を構築し、良きパートナーとしてお互いが自己の持つ力の向上を図り、ともに繁栄、存続してゆく、共存共栄の関係を目指します。

### 2. 公平な機会の提供

お取引先様の選定については、企業としての信頼性、技術力、調達品の品質、価格、納期、企業の社会的責任への取り組み状況等の項目による総合的な評価を行い、国内、国外、経営規模の大小を問わないものとし、新規希望者に対し、常に公平、公正な機会を与え、真摯に対応するように努めるものとします。

### 3. CSRに配慮した調達活動の推進

当社は、「CSR調達指針」に基づき、法令遵守、人権の尊重、労働安全衛生、製品、サービスの品質、安全性の維持、確保、情報セキュリティの維持、推進、公正取引、企業倫理、事業継続のための危機管理体制の構築、社会貢献等、CSRに配慮した調達活動をお取引先様とともに推進します。

### 4. TANAX「CSR調達指針」

当社は、CSRに配慮した調達活動を積極的に推進するため、「CSR調達指針」を作成し、自ら遵守するとともに、お取引先様に対しても、この指針の遵守を求めます。

発行：2016年11月1日  
改訂：2023年 7月1日

### 森林認証紙・古紙の調達

お客様からの環境配慮に関するご要望にお応えし、「持続可能な紙の利用」を推進するため、段ボール原紙・紙・板紙の供給元との強固なネットワークを構築し、FSC®認証紙や古紙の安定的な調達に努めています。

また、当社独自の環境配慮基準「ちゃんとエコ」において製品に対する環境配慮を加点評価するうえで、古紙の利用を推奨し、製品における古紙含有率を高める活動を進めています。こうした活動を通して、「循環型・持続可能な社会形成への寄与」を目指し、森林保全と資源の循環利用に取り組んでいます。

### 化学物質の安全性確認

製造時において化学物質によるばく露から作業を守るために、化学物質管理に関するルールを定め、取り扱い物質や作業内容についてリスクアセスメント結果に基づいた適切な作業環境を整備。取り扱う化学物質、および規制対象物質のリスクアセスメント実施手順を定め、保護具の選定・使用徹底を図ることで、化学物質による健康被害予防と労働災害リスク低減に努めています。

また、取り扱う化学物質についてSDS（安全データシート）を取得し、自社の製造現場および社外製造委託先様などの安全確保を図っています。



「お客様にとってなくてはならない存在」であり続けるために、各種ISOをベースとした独自のマネジメントシステムを運用し、製品サービスの品質向上と継続的改善に取り組んでいます。

## TANAX 品質方針

株式会社TANAXは製品サービスの品質向上と、地球環境の保全が経営の重要課題であると認識し、多様化するニーズに対応していくために、品質、環境及び情報マネジメントシステムを構築し、品質、環境及び情報の双方向による継続的活動の推進により、常にお客様満足度の向上を意識し取り組んでいます。

1. ISO9001、ISO14001及びISO27001を基礎とした独自のマネジメントシステムを構築し、森林認証、ちゃんとエコを含めた環境保全活動、品質向上及び情報セキュリティを推進します。
2. 当社の活動、製品のライフサイクル及びサービスに関わる環境側面、お客様要求事項を認識し、品質、環境及び情報マネジメントシステムの継続的改善を通じて、企業の社会的責任を果たす高付加価値製品の提供を目指します。
3. CSR調達方針に基づき、当社の活動に関する法令、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 技術的、経済的に可能な範囲で品質、環境及び情報の目的、目標を設定し、定期的に見直しを行い、継続的に改善を行います。
5. CDPの、企業に対して気候変動への戦略や具体的な温室効果ガスの排出量に関する公表を求める理念に同意し、CO<sub>2</sub>排出量の削減についても取り組みます。

発行：2019年4月1日

改訂：2021年9月1日

### 品質管理体制

当社は各種ISOを基礎とした品質管理システムを構築し、品質管理規程を含む社内ルールに基づいた運用を行うことで、安定した品質レベルの確保に努めています。具体的活動として、各現場での生産プロセス管理の徹底と品質の作り込みを実施。また、Webカメラやスマートフォンを活用した映像コミュニケーションシステムにより、製造現場の工程・品質確認、作業指示を遠隔地からもリアルタイムに行える体制を構築。これらにより、ヒューマンエラーの防止と不適合品流出の未然防止を図り、生産現場力の強化を図っています。

協会会社様にも当社の品質ガイドラインの運用と、

監査評価へのご協力をお願いして

協会会社様と連携して製造品の

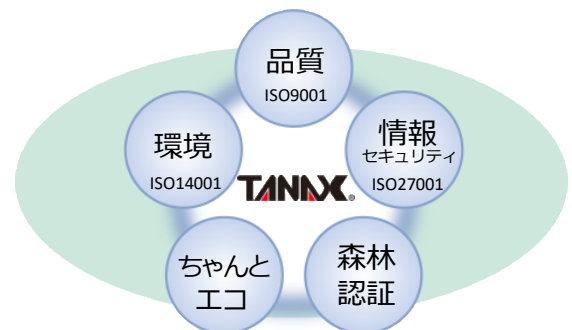
品質向上に取り組んでいます。



TANAX 全工場

### ISO9001（品質マネジメントシステム）

2015年で認証を取得しました。品質マネジメントシステムの有効性を高め、製品サービスの品質向上につなげるために、運用・活動を通して課題を抽出し、継続的改善と教育の徹底に取り組んでいます。



各種マネジメントシステムを基礎とした  
**全社員参画による品質管理体制**



一人ひとりの従業員が安心・安全に、かつ目標とやりがいを持って働ける職場づくりを実現するために、人権の尊重、健康配慮、社員の成長と能力開発に関する取り組みを実施しています。

## ダイバーシティ&インクルージョン

### 【女性が活躍し続けられる職場環境の実現】

基本的人権と個性の尊重を基本として、性別、年齢、障がいの有無などに関わらず、すべての従業員が安心して働き続けられる環境づくりを通じて、持続可能な企業成長と社会貢献の両立を目指しています。

特に女性の活躍推進においては、意思決定の多様性を高める観点から女性役員の選出を行い、経営層におけるジェンダーバランスの向上を図っています。

2026年4月1日～2030年3月31日までの4年間を計画期間とし、「社員全体に占める女性従業員の割合を35%以上にする」「女性従業員の平均継続勤務年数を10年以上にする」という2つの目標を掲げました。

2025年は女性従業員の割合31.6%、平均継続勤務年数10.4年となっており、今後目標達成に向けて取り組みを加速させていきます。

また、女性管理職の登用を後押しするため、産前産後休暇や育児休業からの復職後も柔軟に働ける制度を設け、キャリア推奨を支援する環境づくりにも注力しています。

### 【男性の育児参画促進に向けた取り組み】

「次世代育成支援対策推進法」に基づき、従業員の仕事と子育ての両立を図るために「行動計画」を策定しました。

当社の男性従業員による育児休業などの取得率は、2024年以前までで約29%となっており、行動計画策定には、2025年1月1日～2027年12月31日までの3年間を計画期間とし、「男性従業員の育児休業などの利用率を30%以上にする」目標を掲げ、促進活動に取り組んでいます。

2025年は男性従業員を対象としてアンケート調査を実施し、現状把握を図りました。また、社内イントラネットを通じて、制度の周知を図るとともに、対象者の所属部門長と面談を実施し、男性従業員が育児休業などを取得しやすい職場環境の整備に取り組んでいます。

### 【くるみん認定（一つ星）を取得】

仕事と育児の両立支援に関する取り組みが評価され、厚生労働省より、「くるみん認定（一つ星）」を取得しました。本認定は、育児休業の取得促進や柔軟な働き方の整備など、子育てと仕事の両立支援に関する、一定の基準を満たした企業に付与されるものです。

当社では、育児休業制度の充実や復職後の働き方支援を通じて、従業員のキャリア継続を支援しています。

対象期間を2021年4月1日～2024年12月31日として、育児休業取得の推進活動に取り組んできました。

- ・女性従業員の育児休業率95%
  - ・男性の育児休業取得者8名
  - ・フレックスタイム制度の導入
  - ・小学校3年生の年度末（3月31日）に達するまでの子を養育する従業員は、所定労働時間について変更することができる。
  - ・所定労働外時間の削減のための措置
  - ・「ノー残業デー」の導入
  - ・フレックスタイム制の活用
- 今後も従業員にとってよりよい環境づくりに取り組んでいきます。





## 従業員のウェルビーイング向上

### 【安心して働ける環境を支える休暇制度の導入】

私傷病・出産・育児・介護などで休みが必要な場合、年次有給休暇の残日数を気にせず、安心して休暇を取得できるようにすることを目的とした、「ライフサポート休暇制度」を2023年より導入しています。

### 【従業員と地域社会の安全確保に向けた取り組み】

緊急時における迅速な救命対応体制の構築を目的として、全拠点にAED（自動体外式除細動器）を設置しています。また、有事の際に社員がためらうことなく適切な対応を行えるよう、各地域で実施されるAED講習会や消防署主催の救命講習への参加を推進しています。

今後も、継続的な教育・訓練を通じて対応力の向上を図るとともに、「社員の安全」と「地域社会の安全」に貢献できる体制の強化に取り組んでいきます。

## 人材開発・社員教育・成長支援

### 【サステナビリティ課題の重要テーマへの取り組み】

当社は、サステナビリティ課題への対応を経営の重要テーマと位置づけており、その実効性を高めるためには、従業員一人ひとりの理解が不可欠であると考え、専門部署による『ESG勉強会』を実施しました。

本勉強会では、サステナビリティに関する基礎知識の習得に加えて、各部署での業務における具体的な行動へつなげることを目的とし、対象者の約9割ほどが参加しました。実施後のアンケートでは約7割の回答を得ており、全社的な意識醸成と理解の向上につながっています。

さらに、ESG活動の理解を社外にも広げ、パートナー企業として取り組みを推進するため、お客様向けにも同勉強会を実施し、多くの方にご参加いただきました。

これらの取り組みを通じて得られた情報を踏まえて、今後の活動の改善および施策検討に活用しています。

### 【個の成長を企業の成長へつなげる取り組み】

自発的に業務に関する知識の向上、技術技能・資格の取得を図ろうとする従業員に対して、自己啓発意識の向上および従業員の資質・能力の向上を促進し、会社のさらなる発展に寄与することを目的として、会社が金銭的・時間的に援助する「自己啓発規定」を導入しました。



当社は地域やステークホルダーの皆様と強い絆を育むために、文化・スポーツ振興に取り組んでいます。  
 (CSRに関するガイドライン「ISO26000」第6章、7つの中核主題の1つである「コミュニティ参画および開発」に基づく)

## 日本伝統文化の振興

当社は、日本の伝統文化の維持・保護およびその発信を目的として、一般財団法人京都国際文化振興財団に協賛し、文化振興を通じた社会貢献に取り組んでいます。2025年は京都市勤業館「みやこめっせ」で開催された「第45回日本盆栽大観展」への協賛に加え、「2025年日本国際博覧会（EXPO2025大阪・関西万博）」において開催された「日本盆栽・水石展」に、同財団が所有する盆栽・水石の出展を支援しました。

今後も、伝統文化を通じた国際交流や文化の継承・発信に寄与し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



2025年日本国際博覧会「日本盆栽・水石展」

## 【京都子ども宅食プロジェクトへの支援】

当社は2023年より、京都市を拠点に活動を続ける「京都子ども宅食プロジェクト」へ、梱包・輸送用の段ボール6,000ケースの寄付を通じて、地域の子どもたちとその家庭を支援しています。「京都子ども宅食プロジェクト」は、経済的に困難な状況にある家庭へ定期的に食品や日用品を届けることで、子育て家庭の孤立を防ぎ、地域とのつながりを生むことを目的としています。単なる物的支援に留まらず、地域社会づくりにも貢献し、京都市11行政区全域の支援を目標とし、支援の輪の拡大を目指しています。



京都子ども宅食プロジェクト

## 地域・スポーツの振興

### 【GAINER メインスポンサー】

当社は、モータースポーツにおいてもSUPER GT300に参戦するカーレーシングチーム「GAINER」のメインスポンサーを務めています。レーシングカーの仕様にはお客様の製品を採用させていただき、お客様とともに、スポーツ振興に取り組んでいます。

**GAINER**



<http://www.gainer.asia>

### 【京都ハンナリーズ メジャーパートナー】

スポーツを通じた地域社会の発展貢献の思いから、京都を本拠地としてプロバスケットボールのB.LEAGUEに参戦する「京都ハンナリーズ」をメジャーパートナーとしてサポートしており、社員も応援に駆け付けています。

KYOTO  
**HANNARYZ**



©KyotoHannaryz/B.LEAGUE



法令遵守の徹底と企業倫理・社会的責任の意識浸透に取り組み、誠実な企業活動に努めることで、お客様をはじめ、ステークホルダーの皆様から安心・満足・信頼をいただける企業を目指します。

## TANAX コンプライアンスポリシー

株式会社TANAXは、企業活動を通じ持続可能な社会の実現に寄与するため、以下の通り、コンプライアンスポリシーを定めます。当社は、本ポリシーを遵守するため、コンプライアンス体制の整備や役員および従業員に対する定期的なコンプライアンス研修を行うとともに、本ポリシーの遵守状況について監査の独立性を担保したうえでモニタリングを実施することで、コンプライアンス体制の強化に向けて継続的な改善を図っていきます。

### 1. 法令遵守

- ・企業活動に関係する法令、条例、通達、お客様との契約および社内規程等について、その趣旨、目的を理解し、遵守します。

### 2. 社会的責任

- ・社会の構成員としての自覚を持ち、社会規範および企業倫理に基づき、良識を持って誠実に行動します。

### 3. 公正な取引

- ・優越的地位の濫用や不当な取引強制、事業活動の不当拘束など公正な競争を阻害する行為またはその恐れのある行為を行いません。
- ・私的独占・寡占、カルテルや談合など競争の実質的制限となるような行為を行わず、競争の実質的制限と疑われるような行為もいたしません。
- ・不当な代金の減額や、不当な取引内容の変更など下請事業者や取引先の利益を不当に害する行為をいたしません。
- ・誤解を招くような誇大な広告宣伝など一般消費者の合理的な選択を阻害する行為またはその恐れのある行為をいたしません。

### 4. 情報管理

- ・当社およびお客様の企業秘密は適切に管理し、第三者への漏洩を防止するとともに、利用目的の範囲内でのみ使用いたします。また、企業秘密について、不正な手段により入手いたしません。
- ・個人情報等を適切に管理し、漏洩、毀損、滅失などを防ぐとともに、お客様から許諾された利用目的以外の目的で利用いたしません。

### 5. 知的財産権

- ・第三者が保有する著作権、商標権、特許権、実用新案権、意匠権などの知的財産権を無断で使用せず、また当社が事業を行ううえで第三者の知的財産権を侵害しないよう事前に必要な調査を行うなど最善の注意をいたします。
- ・当社が保有する著作権、商標権、特許権、実用新案権、意匠権などの知的財産権を適切に利用し、保全します。

### 6. 反社会的勢力の排除

- ・暴力団をはじめとする反社会的勢力と一切のいかなるかかわりを持ちません。
- ・違法行為から生じた収益にかかわる取引やテロリストに資金を供与する行為を一切行いません。

### 7. 腐敗防止

- ・政治家や役人などに対する贈賄や不正な利益供与などの腐敗防止に取り組みます。
- ・社会通念上相当と認められる程度を超えた水準の贈答・接待を行うことや受けることはいたしません。
- ・当社の利益を犠牲にして、当社の従業員が自己または第三者の個人的な利益を図るような行為をしません。
- ・当社および従業員は、お客様の重要な非公開の情報を利用して利益を得るような行為をいたしません。

### 8. 環境に対する配慮

- ・地球環境の保全に十分配慮した事業活動を行うとともに、資源の再利用などを通じ環境負荷の低減に努めます。

### 9. 労働環境

- ・お客様や取引先をはじめとする当社にかかわるすべての方の信用・信頼・名誉を損なう行動や発言を許容しません。
- ・労働安全衛生にかかわる法令を遵守し、従業員が安全で働きやすい環境を確保し、従業員の健康を守ります。
- ・人種・国籍・年齢・性別・宗教・政治的見解など業務の遂行と関係のない事由に基づく差別を行いません。
- ・性的な嫌がらせや、職場内での優越的な地位を利用した業務の適正な範囲を超えた精神的・身体的苦痛を与える行為を許容いたしません。
- ・本人の意思に反する就労、離職の自由が制限される労働などの強制労働を防止します。
- ・法令で定められた最低年齢に達しない者を労働に従事させません。
- ・結社の自由、団体権、団体交渉権を尊重し、これらに反する行為を行いません。

発行：2019年9月1日

改訂：2023年2月1日

## コンプライアンス推進体制

当社は、コンプライアンス活動を含めた全社的なリスク対策や業務・労務改善を推進するために、メンバーを選出して「TSプロジェクト事務局」を設置しています。全拠点を対象として、コンプライアンスポリシーに基づく定期的な社内教育とモニタリングの実施により、コンプライアンスの徹底と継続的改善を図っています。



## 事業継続計画（BCP）の拡充

緊急時における従業員および、その家族の安全確保と、事業の継続運営を適切に行うことを目的として、事業継続計画の拡充を進めています。方針・対応手順を制定し、大地震や新型コロナウイルスの発生などの緊急時に、全社の対応に関する重要な意思決定を迅速に行うために危機管理体制の整備を推進。平常時も定期的に教育訓練を実施し、BCP対応を社内に根付かせる活動に努めています。

## Sedex※での倫理情報の公開と遵法性確認

当社は、サプライヤーとしての倫理的かつ責任ある事業慣行の証明を目的としてSedexに登録（本社工場）し、労働・安全衛生・環境・ビジネス倫理を対象とした当社の企業取り組みをSedexで公開しています。また公開情報をもとに第三者機関の審査を受け、その信頼性および遵法性を証明しています。

※Sedexは世界規模でサプライチェーンを構築する大手企業で取引先・仕入先の管理に活用される、サプライヤーエシカル情報共有プラットフォームです。



## 内部通報制度

会社の法令遵守推進のため、従業員からのコンプライアンスに関する電話・メールの通報・相談窓口として「TANAXホットライン」を設置しています。これにより組織的または個人による不正・違反・反倫理的行為を未然に防ぎ、会社として速やかに事実確認と調査を行い、是正を図れる体制を構築しています。

## ISO27001 (情報セキュリティマネジメントシステム) ISO27701 (プライバシー情報マネジメントシステム)

情報資産の管理について、安全で確実な保護のもとで適切に共有・活用することが企業の重要な課題と認識し、2016年にISO27001認証を取得し、2023年にISO27701認証を取得しました。

当社では情報セキュリティ方針を制定し、お客様情報と個人情報の保護を継続的に実施しています。

また、ISO27001、ISO27701取得サイトだけでなく、全社対象で社内教育を実施し、情報セキュリティ体制の強化を推進しています。



## 「ホワイト物流」推進運動に参画

当社は、国土交通省・経済産業省・農林水産省が推進する「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、自主行動宣言を事務局へ提出しています。

「ホワイト物流」推進運動は、深刻化が続くトラック運転者不足に対応し国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済成長に寄与することを目的とした運動です。

当社は、物流ソリューションを手掛ける企業として当運動を推進するとともに、当社が提案する

「Just fit BOX®（ジャストフィットボックス）」での段ボール資材の梱包作業・調達形態の抜本的な改革によって、「ホワイト物流」の取り組みを後押しいたします。





## EcoVadis社の

### 2025年サステナビリティ調査で「シルバー」評価を獲得しました

当社は、EcoVadisによる2025年調査において「シルバー」評価を獲得しました。

EcoVadis社は、世界中の持続可能性を推進するため、2007年に設立された企業のサステナビリティに関する国際的評価機関です。世界185ヶ国、250業種にわたる約150,000社以上の企業を対象に、「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」の4分野で評価を行っており、「シルバー」評価は、対象企業の上位15%以上に付与されるものです。

ESGの重要性が高まる昨今、EcoVadis社の評価結果は多くのグローバル企業からサプライヤー選定における重要な基準の一つとして参照されています。



### クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス (CLOMA) に加盟しています

当社は、ESG推進の取り組みの一環としてクリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（以下、CLOMA）に正会員として2023年から加盟しています。

CLOMAは、海洋プラスチックごみの問題解決に向けて、プラスチック製品のより持続可能な使用並びにプラスチック廃棄物の削減につながる革新的な代替品の開発及び導入普及を図るため、業界の垣根を越えて経済界全体としての活動を企画・推進し、官民一体となって素材を通じた持続可能な発展を推進するため、2019年に日本で設立された民間連携のプラットフォームです。



### 国連グローバル・コンパクト (UNGC) に賛同・加盟しました

当社は、国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト (UNGC)」に賛同する署名を行い、2024年に参加企業として登録されました。

国連グローバル・コンパクト (UN Global Compact) は、国連と民間（企業・団体）が手を結び、健全なグローバル社会を築くための世界最大のサステナビリティイニシアチブで、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための自発的な取り組みです。

UNGCに署名する企業・団体は「人権保護」「不当労働の排除」「環境対応」「腐敗防止」に関わる4分野10の原則に賛同し、その実現に向けて努力を継続することが求められています。



---

このサステナビリティレポートを通して、株式会社TANAXの「社会」「環境」を中心としたサステナビリティ活動を開示することによって、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深めることを目的として編集しております。

報告対象：株式会社TANAX（一部関連会社の情報も含まれます）  
対象期間：2025年度（2025年1月1日～12月31日）。ただし、一部には2024年以前の活動や情報も含まれています。  
発行時期：2026年5月



人とモノの間に。

**TANIX**<sup>®</sup>